

## F SPORT PARTS(TRD)

## MS313-48006/7/8

## リヤディフューザー

## 取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。  
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、  
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS313-48006-A1	ホワイトメタリック (083)	RX 200t 全車	AGL20/25	'15.10 ~	
MS313-48006-C0	ブラック (212)				
MS313-48006-C1	グラファイトブラックメタリック (223)	RX 450h 全車	GYL20/25		
MS313-48007-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS313-48008	共通品 (212)				

\*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

純正マフラーを含み、TRDスポーツマフラー以外の同時装着は出来ません。

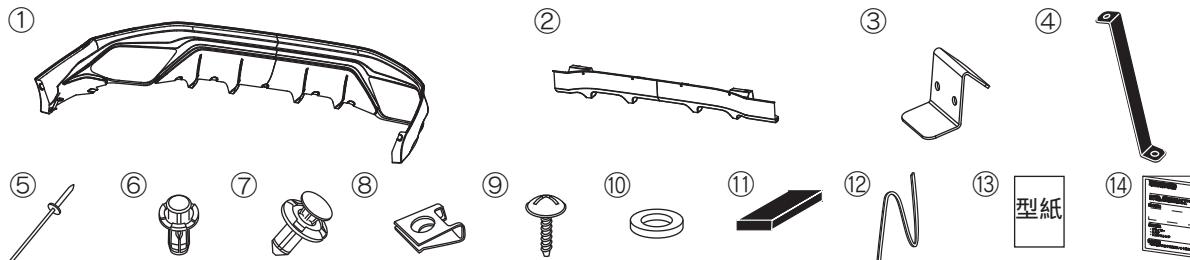
\*本製品装着前に純正マフラーを外し、製品装着後にTRDマフラーを装着してください。

## ■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーカバー		1	
③	ブラケットA		1	
④	ブラケットB		2	黒色
⑤	リベット		2	黒色
⑥	クリップA		4	Φ8
⑦	クリップB		5	Φ9
⑧	Jナット		2	M5用
⑨	タッピングスクリュー		2	M5×16
⑩	ラバーワッシャー		2	t=2
⑪	クッションA		1	t=5
⑫	クッションB		1	t=6
⑬	型紙		1	A4シール
⑭	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-48007-NP (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑮	別ピース		1	
⑯	マフラー別ピース		R/L各1	
⑰	リベット		2	黒色
⑱	クリップC		2	Φ5
⑲	PACプライマー		1	K500






以下、MS313-48007-NP (未塗装品セット) のみに同梱




## 取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 <b>警告</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 <b>注意</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 <b>アドバイス</b>	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

**確認** 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

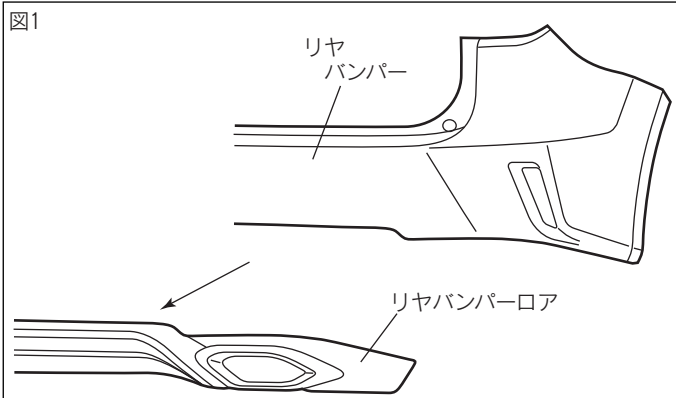
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット(MS313-48007-NP)は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのリヤディフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。  
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

本商品は、3年・60,000K mの保証を実施致します。(3年または60,000K m走行時点のいずれか早い方で)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品 (MS313-48007-NP) は製品装着後、取付取扱い要領書8ページ以降を参照し別ピースを取付けてください。

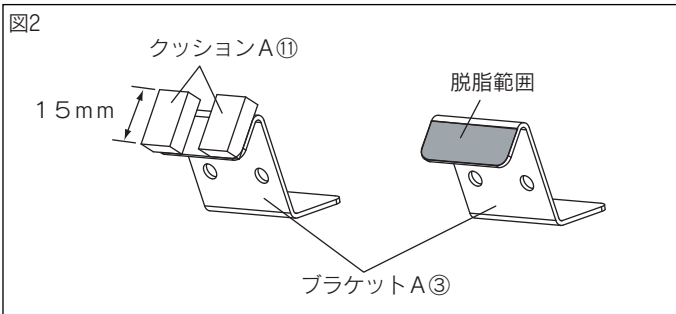


※本取付取扱い要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様に行ってください。

□取付準備

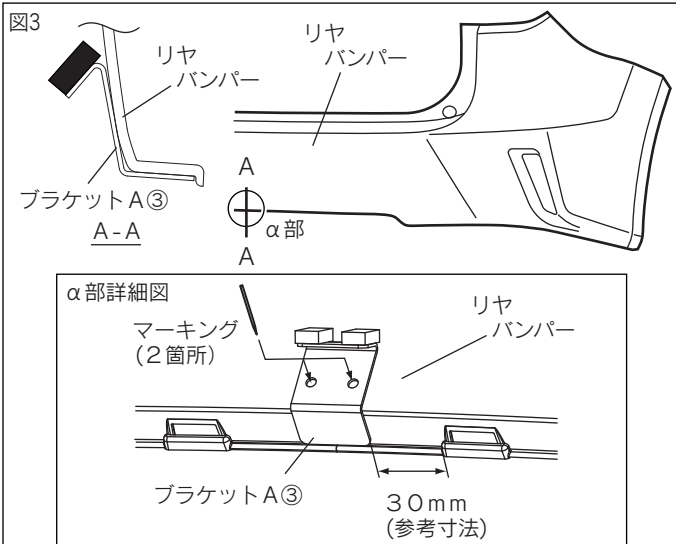
1. 該当する修理書を参照し、車両からリヤバンパーを取外し、リヤバンパーロアを取外す。

△注意：取外したリヤバンパーカバーとショートパーツは再使用します。取付け完了まで保管してください。



2. 図2のようにブラケットA③の汚れを取除き、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂する。（1箇所）

△注意：脱脂を行う際は上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



3. 図2のようにクッションA⑪を長さ15mm 2本にカットし、ブラケットA③に貼付ける。（2箇所）

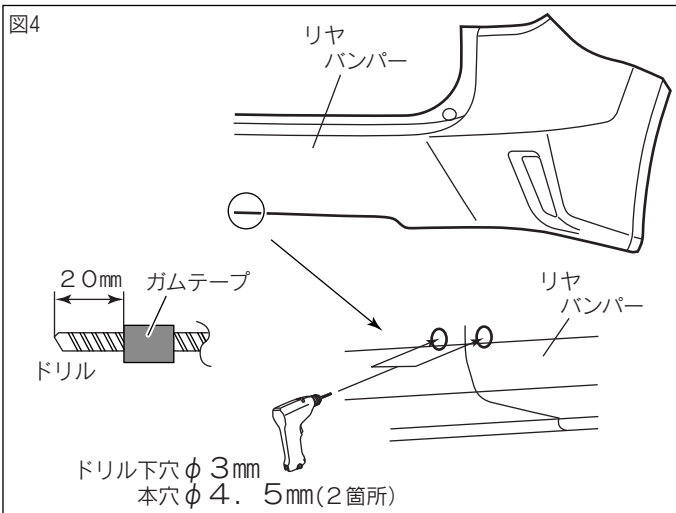
4. 図3のようにリヤバンパーのセンター下部にブラケットA③を当て、穴センターをマーキングする。（2箇所）

5. 図4のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ4.5mmの順にドリルを使用してリヤバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。（2箇所）

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

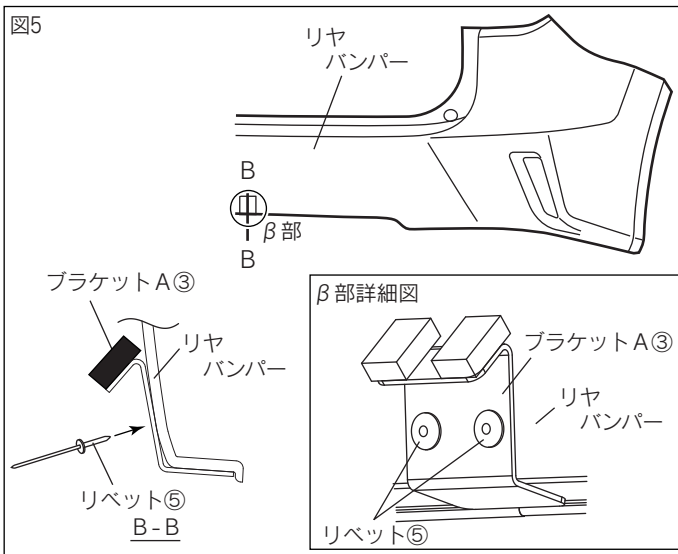
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

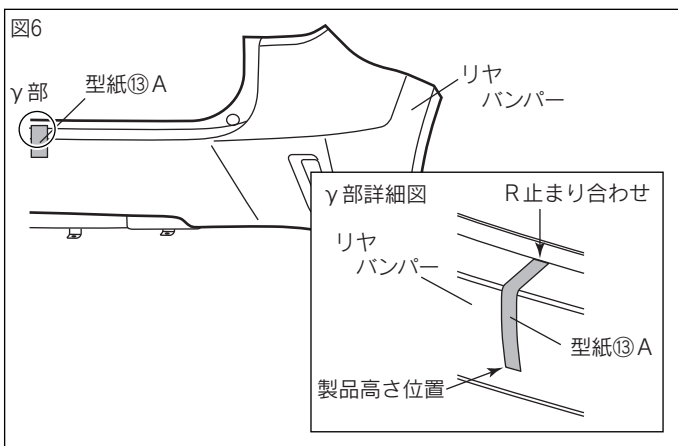


6. 該当する修理書を参照し、リヤバンパーを車両へ戻す。

△注意：取付準備1. 2. で取外した車両部品のリヤバンパーロアとリアアンダーカバーは再使用しません。



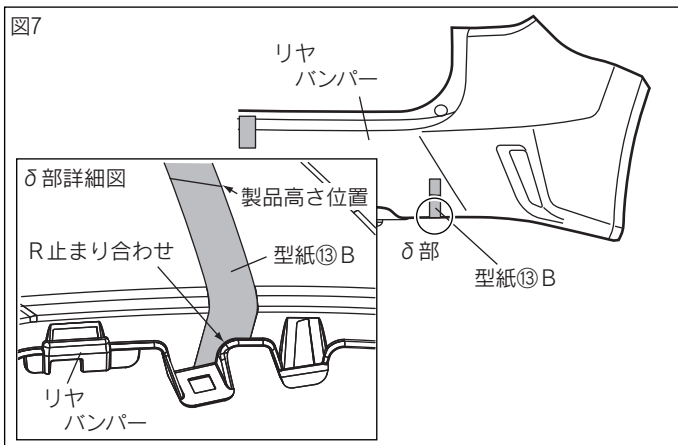
7. 図5のように穴をあけたリヤバンパーのセンター下部にブラケットA③を当て、リヤバンパー外側からリベット⑤で固定する。  
(2箇所)



8. 図6のように型紙⑬Aをリヤバンパーのセンター上部に貼付ける。  
(中央1箇所)

△注意：型紙がずれている場合は、製品高さ位置がずれてしまいますので貼直してください。

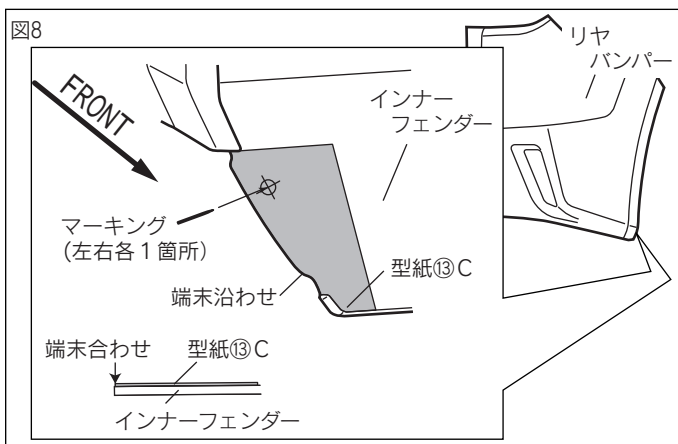
👉アドバイス：センターを出す際、ストライカーを目安にして頂くと、より正確な位置を出す事が出来ます。



9. 図7のように型紙⑬Bをリヤバンパーに貼付ける。  
(左右各1箇所)

△注意：型紙がずれている場合は、製品高さ位置がずれてしまいますので貼直してください。

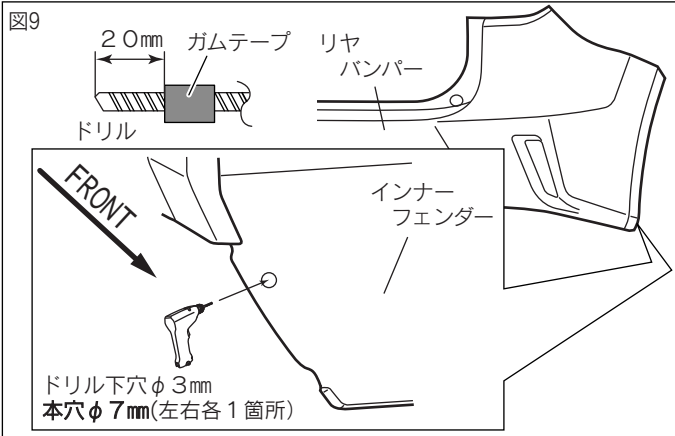
10. 型紙⑬Bの製品高さ位置の線から上を残し、下側は切取る。  
(左右各1箇所)



11. 図8のように型紙⑬Cをインナーフェンダーの下部に貼付け、穴センターをマーキングする。  
(左右各1箇所)

△注意：型紙がずれている場合は、製品高さ位置がずれてしまいますので貼直してください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、リヤディフューザー①を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

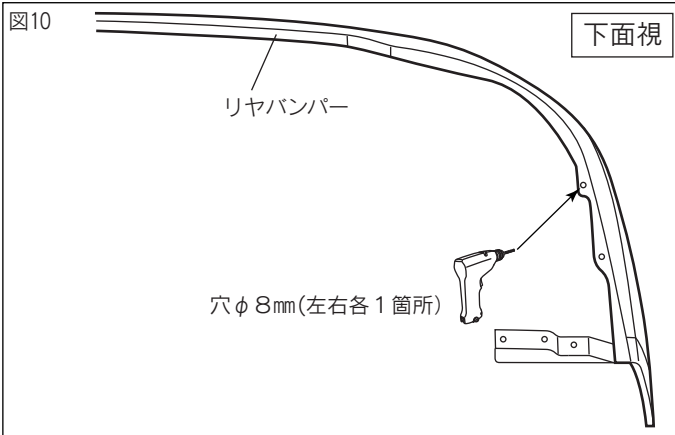


12. 型紙を剥がし、図9のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してフロントバンパーパッドのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。  
(左右各1箇所)

🔧 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

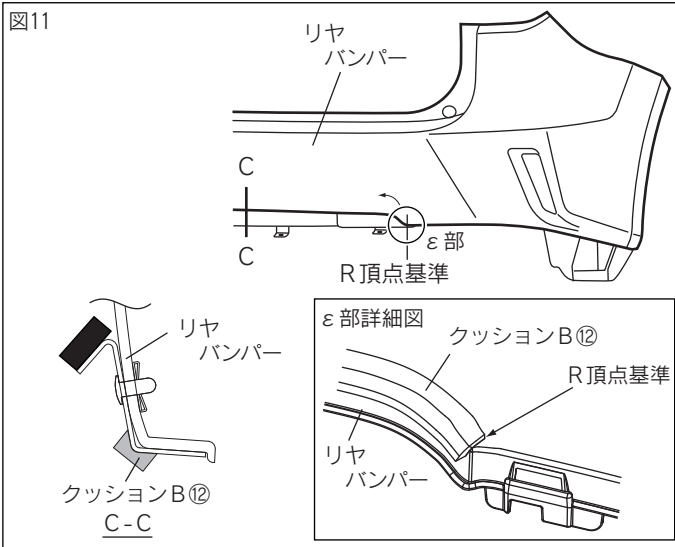


13. 図10のようにリヤバンパーのスロット穴をφ8mmのドリルで穴を広げ、穴のバリを取除く。  
(左右各1箇所)

🔧 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

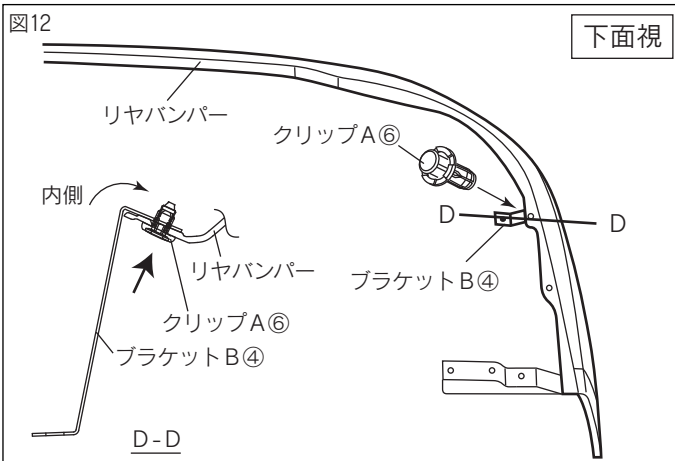
⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



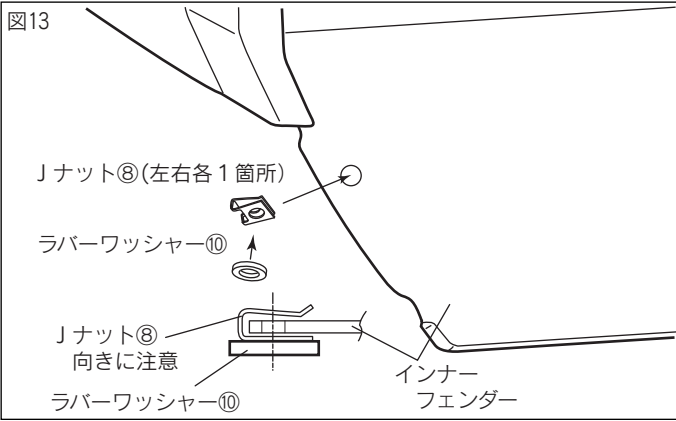
14. 図11のようにリヤバンパー下部のクッションB⑫貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂してリヤバンパー角部を保護するようにクッションB⑫を貼付ける。  
(1箇所)

⚠️ 注意：脱脂を行う際は上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



15. 図12のようにリヤバンパーにブラケットB④の鋭角側を掛け、クリップA⑥で下から固定する。  
(左右各1箇所)

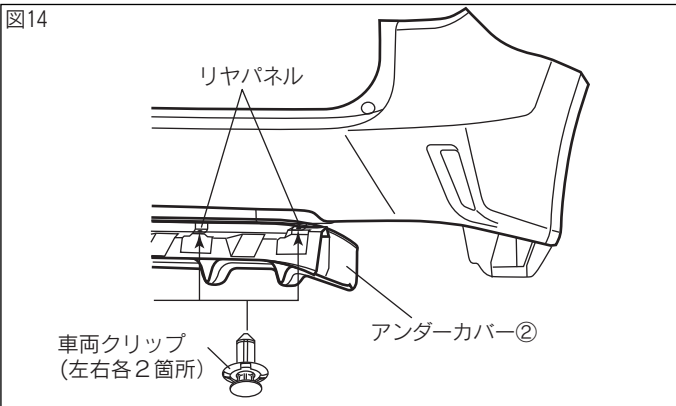
⚠️ 注意：ブラケット取付け向きに注意して下さい。ブラケットにマーキングがある側がリヤバンパー側です。逆に取付けるとリヤスポイラーが取付かなくなります。



16. 図13のようにJナット⑧にラバーワッシャー⑩を貼付け、インナーフェンダー部に差込む。

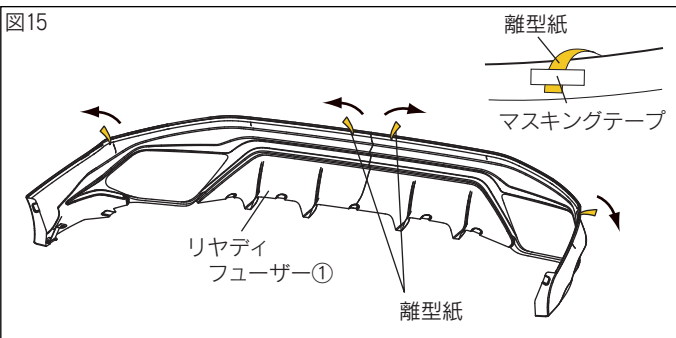
(左右各1箇所)

⚠注意：Jナット⑧の差込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリー⑨が取付かなくなります。



17. 図14のようにリヤパネルにアンダーカバー②を合わせ、車両クリップで固定する。

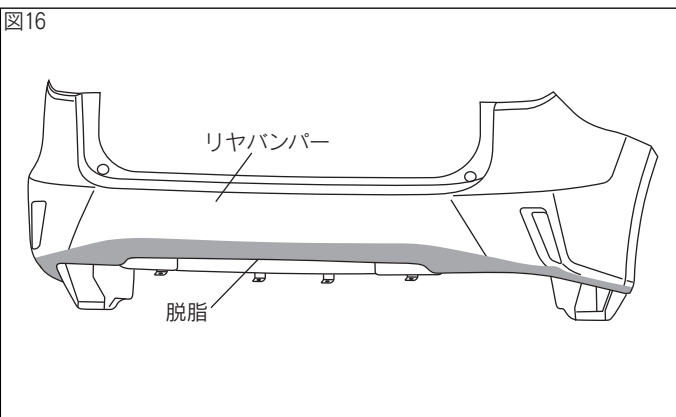
(左右各2箇所)



18. 図15のようにリヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。

(左右各2箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

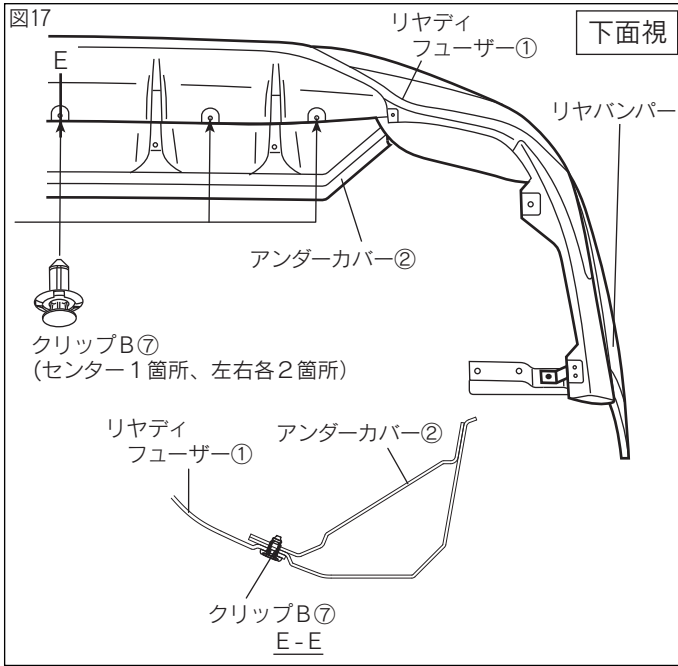


19. 図16のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

(1箇所)

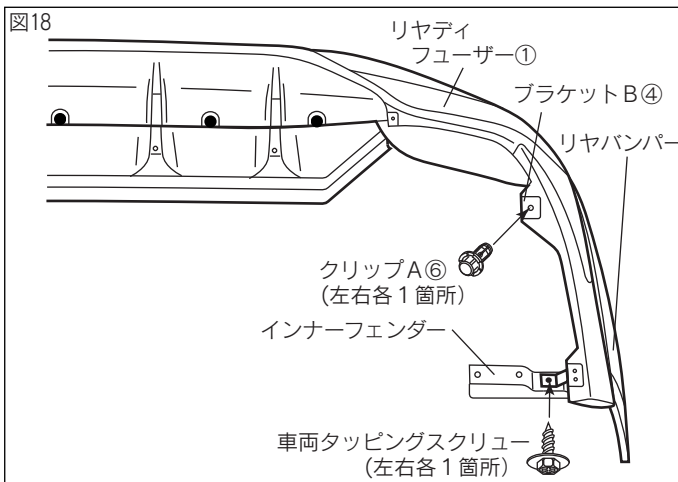
⚠警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください

⚠注意：脱脂を行う際は上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

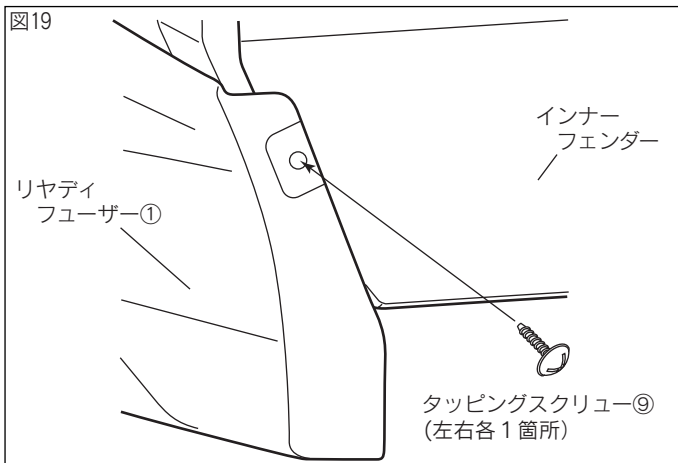


□取付要領

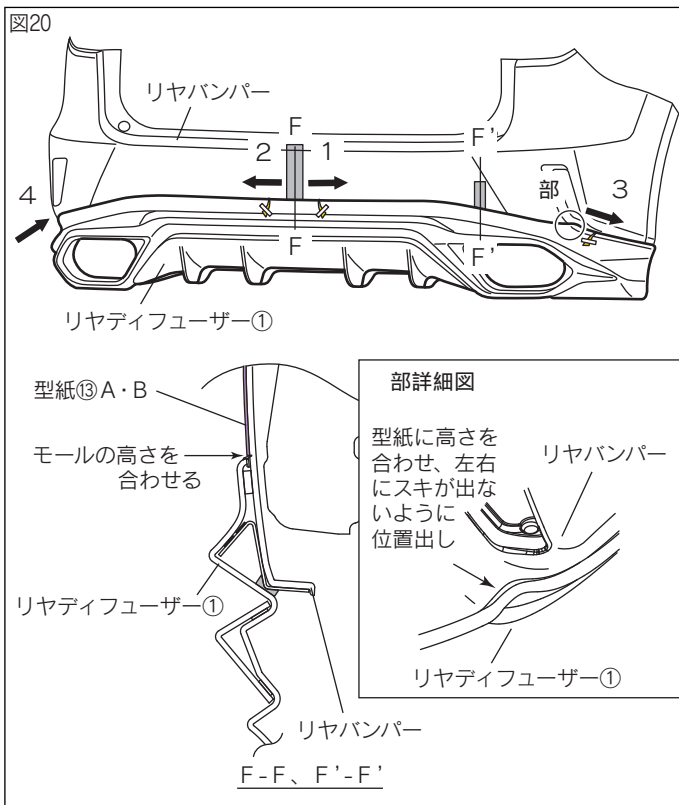
1. 図17のようにリヤディフューザー①を合わせ、リヤディフューザー①の下面とアンダーカバー②をクリップB⑦で固定する。  
(センター1箇所、左右各2箇所)



2. 図18のように下面ブラケットB④をクリップA⑥で固定する。  
(左右各1箇所)
3. 図18のようにインナーフェンダー、ブラケットを車両タッピングスクリューで仮締めする。  
(左右各1箇所)



4. 図19のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー⑨で仮締めする。  
(左右各1箇所)



5. 図20のように、リアディフューザー①の取付け高さを型紙⑬A・Bに合わせながら両面テープの離型紙を図の番号順に剥がし貼付け、圧着する。  
 { 49N ( 5kgf ) 以上 }  
 (左右各2箇所)

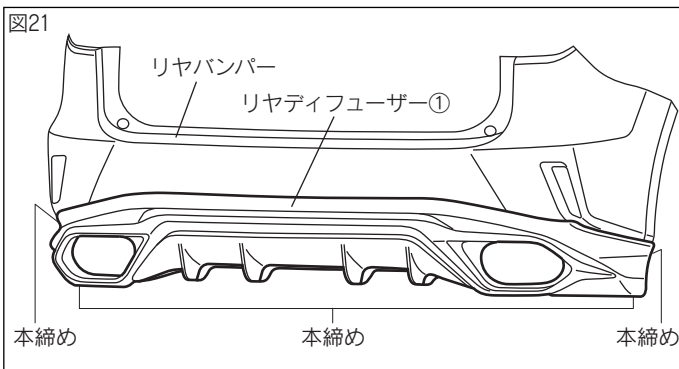
⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

⚠注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にご注意下さい。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



6. 図21のように下面最外側部を仮締めしている車両タッピングスクリューを本締めする。  
 (左右各1箇所)

7. 図21のようにホイールハウス部を仮締めしているタッピングスクリュー⑨を本締めする。  
 (左右各1箇所)

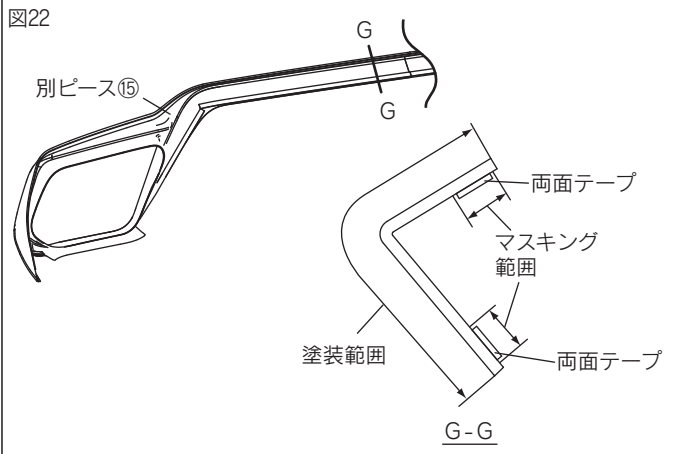
■取付け完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザーがクリップ、タッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤバンパー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。



## ■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS313-48007-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付取扱要領書は、主にRH側を示しており、LH側も同様に従ってください。

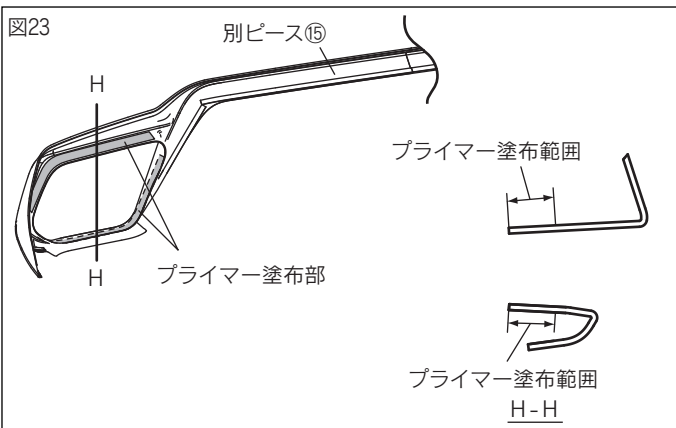
### □別ピースの塗装

1. 図22のように別ピース⑮を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

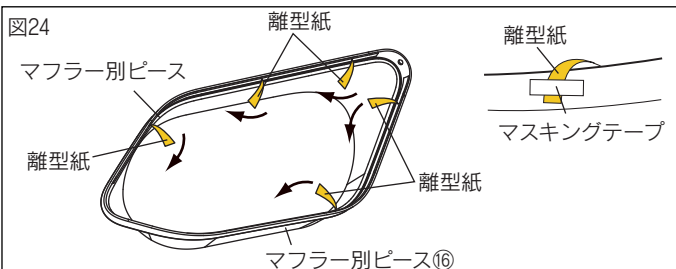
△注意：両面テープは、絶対に塗装しないでください。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。  
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



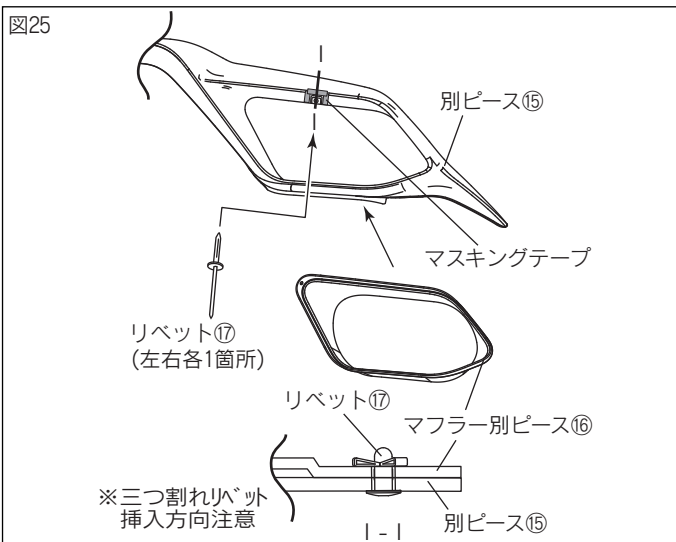
### □別ピースの組付け準備

1. 図23のように別ピース⑮のマフラー別ピース⑯組付け部の汚れを除去し、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑰を塗布する。(左右各2箇所)



2. 図24のようにマフラー別ピース⑯の両面テープの離型紙を矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各5箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。

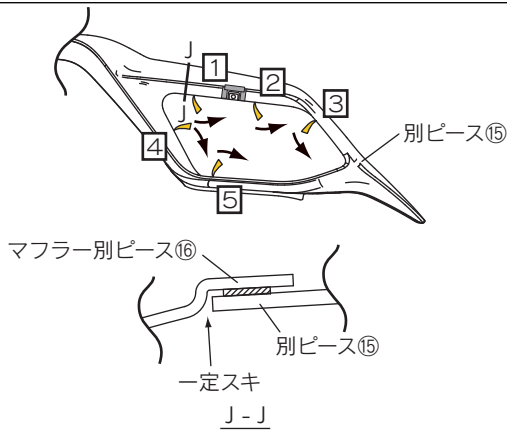


3. マフラー別ピース⑯を別ピース⑮にかぶせ、図24のようにリベット⑰取付け部周辺の別ピース⑮をマスキングテープ等でマスキングする。(左右各1箇所)
4. 図25のようにリベット⑰を取付ける。(左右各1箇所)

△注意：マスキングをせずにリベット⑰の取付けを行うと、別ピース⑮及びマフラー別ピース⑯を傷付ける可能性があります。

5. マスキングを剥がす。

図26



6. 図26のように別ピース⑮とマフラー別ピース⑯の各部のスキが一定であることを確認し、マフラー別ピース⑯の両面テープの離型紙を図の順番に剥がして貼付け、圧着する。  
 { 49 N ( 5 k g f ) 以上 }  
 (左右各5箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

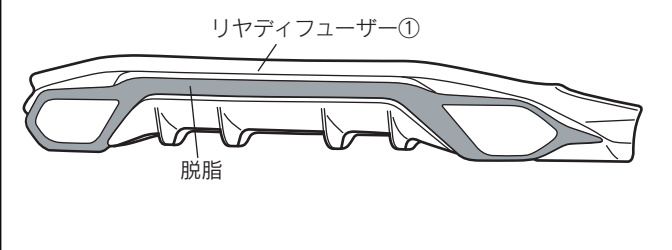
△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。  
 圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図27

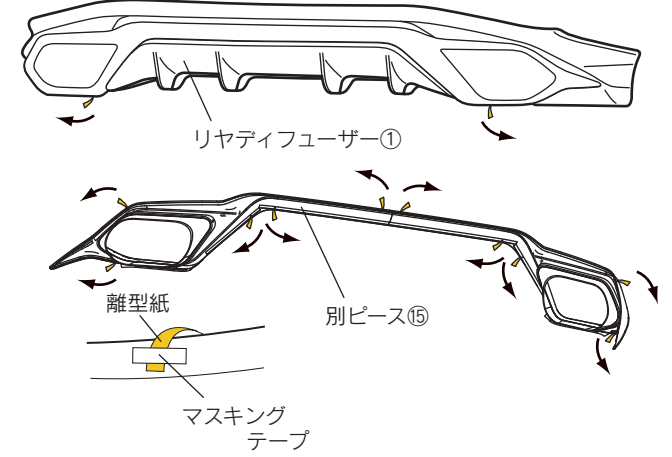


### □別ピースの組付け

1. 図27のようにリヤディフューザー①の別ピース⑮組付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

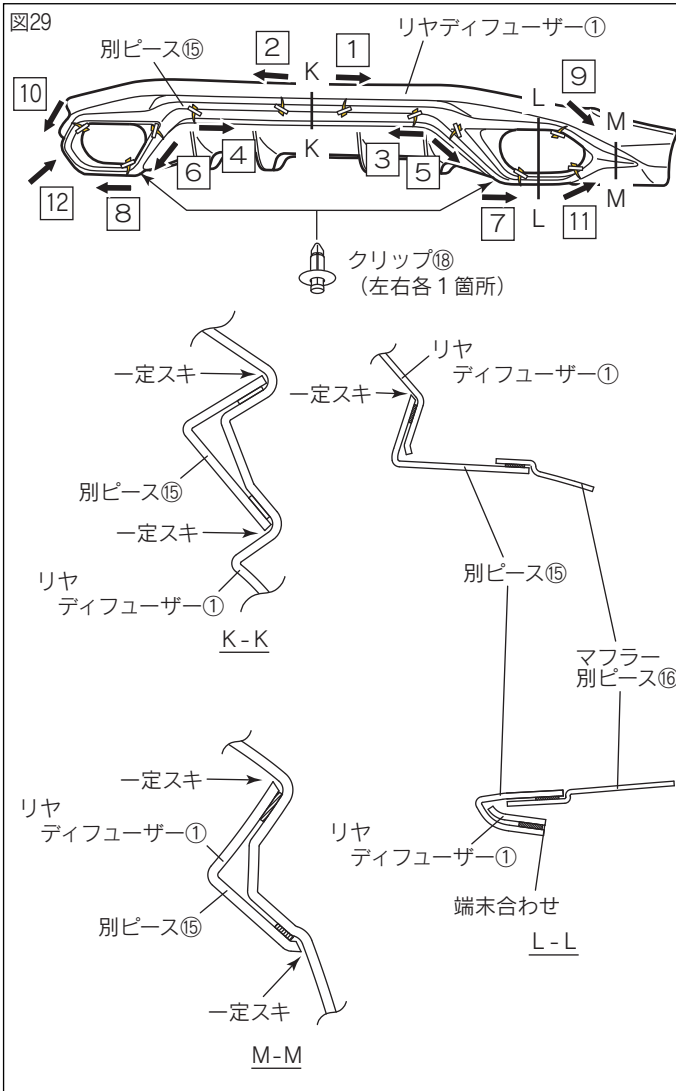
図28



2. 図28のようにリヤディフューザー①下面及び、別ピース⑮の両面テープの離形紙を中央から約30mm剥がし、マスキングテープ等で表面に貼付ける。

リヤディフューザー①(左右各1箇所)  
 別ピース⑮(左右各5箇所)

△注意：指示以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付け位置に取付けが出来なくなります。



3. 図29のようにリヤディフューザー①マフラー横をクリップ⑱で固定する。  
(左右各1箇所)

4. 図29のようにリヤディフューザー①と別ピース⑮の各部のスキが一定であることを確認し、別ピース⑮の両面テープの離型紙を図の順番に剥がして貼付け、圧着する。  
{ 49N (5kgf) 以上 }  
(左右各6箇所)

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

⚠注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉アドバイス：離型紙を剥がす際、リヤディフューザー①に別ピース⑮を押し当てながら圧着してください。